

ユニット内の学校園が
つながる
タテの連携

学校園連携ユニット

学校園連携ユニットとは、中学校区を1つの単位（ユニット）とし、その地域の保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・養護学校が相互に連携しながら、子どもの連続した学びや育ちを支援する仕組みのことです。

ユニットごとに地域の特色を生かした取組を進め、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育みます。

中学校と就学前の連携



中学生と園児の交流（竹馬）



中学生による読み聞かせ

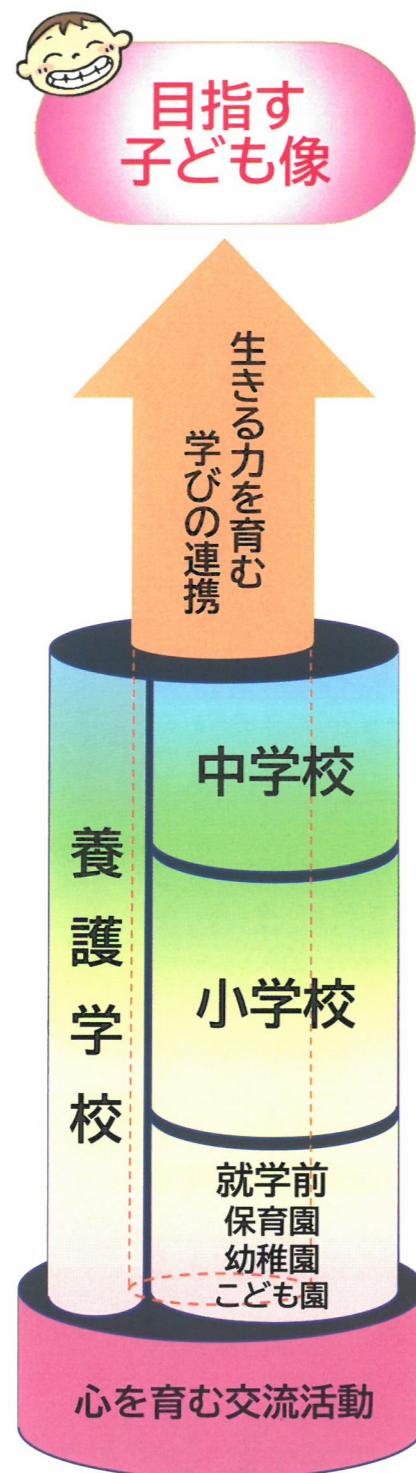


ユニット合同防災避難訓練

同校種との連携



3 小学校オンライン交流



小学校と就学前の連携



幼小連携授業参観



小学生と園児の交流（草引き）



ふれあい表現会

中学校と小学校の連携



オープンジュニアハイスクール

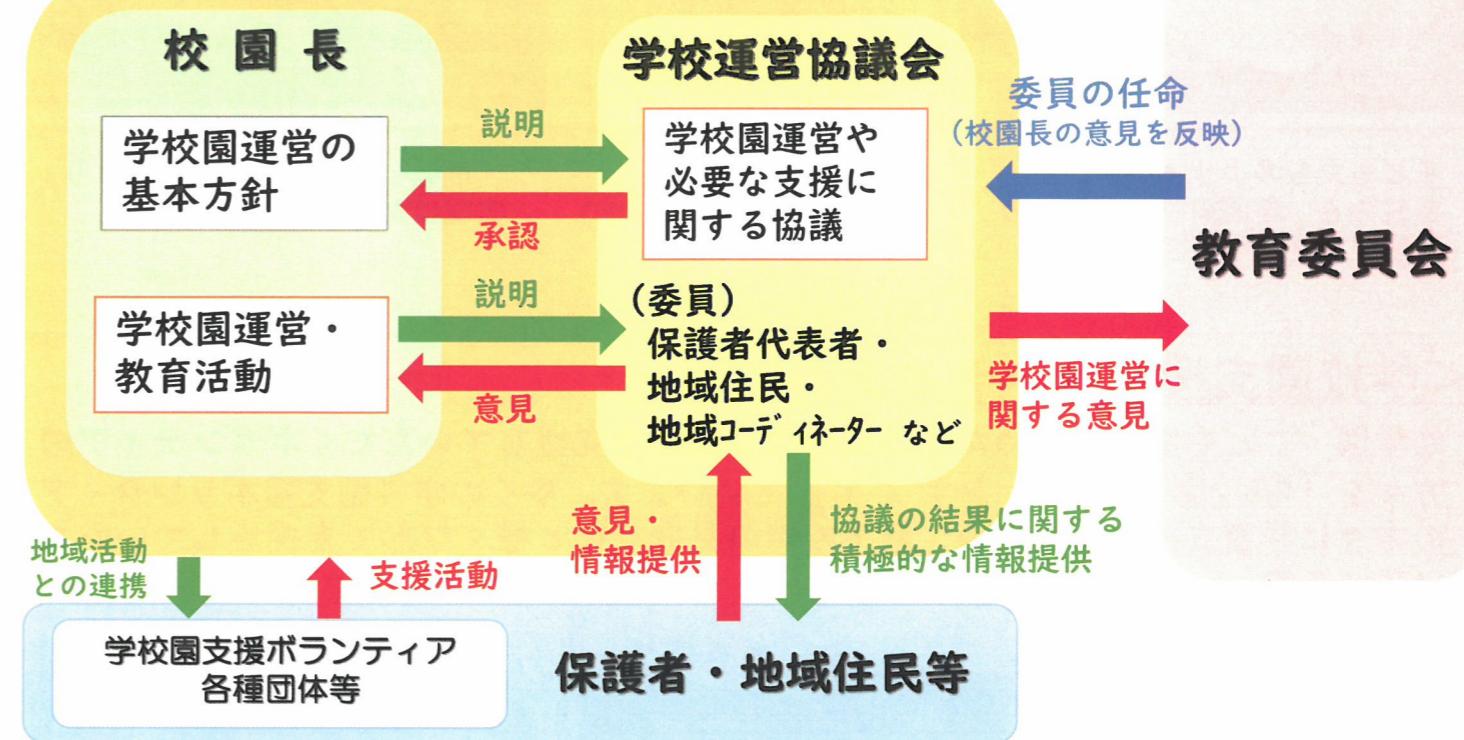
学校運営協議会

学校園・家庭・地域が
つながる
ヨコの連携

学校運営協議会とは、学校園・家庭・地域が、教育目標や「めざす子ども像」などを共有し、ともに学校園の運営などについて協議を行う合議体のことです。

学校運営協議会を設置した学校園のことを**コミュニティ・スクール**とよびます。

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会を設置した学校園)



本市における学校運営協議会の役割

- ①校園長が作成する学校園運営の基本方針を承認する。
- ②学校園運営について、教育委員会又は校園長に意見を述べることができる。
- ③学校園運営への必要な支援に関する協議を行う。

コミュニティ・スクールの効果は？

- ①校園長や教職員の異動があっても、保護者や地域住民がともに参画する学校運営協議会があることによって、取組が持続可能なものとなります。
- ②学校運営協議会等を通して、学校園・家庭・地域が「めざす子ども像」を共有し地域総がかりの教育を一層推進することができます。
- ③校園長が作成する学校園運営の「基本方針の承認」を通して、子どもや学校園地域の抱える課題に対して、役割分担をもって連携・協働ができます。